

ルンバ、スマーボ、ココロボ…購入を検討している人が多いのは、“掃除嫌い”よりも“掃除好き”の人 「ロボット掃除機に関するアンケート」

ネットリサーチ会社の株式会社マーシュ(東京都世田谷区駒沢、代表:町田正一)は、全国在住の20代～50代男女を対象に、ロボット掃除機についてのインターネット調査を実施しました。調査期間:2012年5月14日～5月16日

調査結果サマリー

ロボット掃除機を使っている人は、全体の1.9%

既婚者では、夫婦共働きの世帯の方がそうでない世帯に比べて所有率が高い

(既婚・共働き世帯で2.6%、既婚・その他世帯で0.7%)。

独身者では、同居家族がいる人、一人暮らしの人ともほぼ同じ所有率となった(それぞれ2.6%、2.5%)。

ロボット掃除機の各商品の認知度は、アイロボットの「ルンバ」が圧倒的に高く約9割(87.5%)。

2011年10月発売の東芝「スマーボ」は16.3%、2012年6月の発売(予定)が発表されたシャープ「ココロボ」は7.0%。

ロボット掃除機の購入を検討している人は37.7%(購入を決定している人・検討している人含む)で、およそ4割の人が関心を持っている。

掃除が「好き」という人の方が、「ふつう」または「嫌い」という人よりも検討している人の割合が高い。

検討したい商品を聞いたところ、認知度が一番高い「ルンバ」が最も多かった(67.7%)。

続いて「スマーボ」(19.2%)、「ココロボ」(11.4%)となった。

「スマーボ」は男性の方が関心が高い様子がうかがえ、女性が13.8%であるのに対し男性が24.8%と11ポイント上回った。

「ココロボ」についても、女性より若干男性の方が割合が高かった(女性9.3%、男性13.6%)。

ロボット掃除機の購入を「検討していない」人の理由として最も多かったのは「価格が高い」(51.6%)。

次に多かったのは、「間取り・配置・家具などが適さないと思う」(38.1%)。

普段の家事で、「ロボットが代わりにやってくれたらいいのに」と思うことがあるかどうかたずねたところ、およそ8割の人があるという結果に。

「料理」「風呂掃除」「洗濯」といった代表的な家事が目立ち、特に、洗濯物を干す・たたむ・しまう作業をやって欲しいという回答は非常に多かった。

調査結果詳細はこちら http://www.marsh-research.co.jp/mini_research/mr201205cleaner.html

【調査概要】

調査名: ロボット掃除機に関するアンケート

対象者: 全国の20代～50代男女

サンプル数: 2,400s

サンプル構成:

男性: 50.0% / 女性: 50.0%

20代: 25.0% / 30代: 25.0% / 40代: 25.0% / 50代: 25.0%

調査期間: 2012年5月14日～5月16日

調査方法: インターネット調査

調査機関: 株式会社マーシュ

*アンケートモニターサイト

「D STYLE WEB」の登録会員を

対象に実施

Q3.次にあげる「ロボット掃除機」の中で、あなたがご存知の商品をすべてお選びください。(複数選択可)

